

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【環境政策課】		
琵琶湖環境行政企画調整費	63,552 (74,100)	琵琶湖環境行政の企画および総合調整を行う。
国	25,539	挑 1 国立環境研究所連携推進事業 51,179 国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、琵琶湖の水・湖底環境や在来魚等に関する共同研究を実施するとともに、研究成果等を水環境ビジネスやサイエンスエコツアーに活用し、琵琶湖の保全再生および地域資源の活用を推進する。
緑	7,979	
⊖	30,034	$\left(\begin{array}{ll} \text{①国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究} & 34,087 \\ \text{②水環境技術開発等の推進等} & 17,092 \end{array} \right)$
		2 琵琶湖環境に係る連携研究の推進 7,979 琵琶湖環境に係る部局間連携研究として、琵琶湖流域におけるプラスチックごみの収支・起源と情報発信に関する研究を行い、研究成果をプラスチックごみの発生抑制に向けた効果的な啓発施策等につなげる。
		$\left(\begin{array}{ll} \text{①プラスチック量の把握およびモデル解析} & 7,216 \\ \text{②意識変容を促す情報発信に関する調査} & 763 \end{array} \right)$

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境政策推進費	36,253 (30,911)	持続可能な社会づくり推進に向けた取組を実施する。
緑	11,046	1 「びわ湖の日」活動推進事業 12,854 「びわ湖の日」をきっかけとして、県民をはじめとする多くの人に琵琶湖の価値を認識してもらい、環境を守るための活動を促すため、学校・企業等と連携を図りながら、琵琶湖と関わり学ぶ機会を創出するとともに、広く琵琶湖の多様な価値を発信する。
⊖	25,207	①「びわ湖の日」の情報発信 5,475 ②「びわ湖の日」環境イベント等による啓発 2,879 ③インバウンドを対象とした湖北で「びわ活」体験 4,500
		2 自然体験を通じた環境学習推進事業 5,000 子どもの自然体験や環境学習の機会を増やすため、親世代や若者、教員等を対象とした初心者向けの自然体験プログラム実践講座を開催するとともに、子どもを対象とした自然体験の機会を創出する。
		③ しが環境学習担い手育成事業 3,810 環境学習の担い手の不足や高齢化といった課題に対応するため、ラムサールびわっこ大使のOBOGなどを対象にフィールドワークや先進事例の視察を通して、環境学習の指導者等の質の向上を図り、環境学習指導者のトップ層を育成する。
試験研究費 (琵琶湖環境科学研究センター)	232,146 (204,207)	琵琶湖環境科学研究センター第七期中期計画に基づき試験研究を推進する。
国	6,153	挑 1 試験研究の推進 54,084
財	398	琵琶湖と滋賀県の環境にかかる3つの基本的課題である「琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用」「環境リスクの低減による安全・安心の確保」「気候変動影響を踏まえたCO ₂ ネットゼロ社会づくり」に対応する試験研究を推進する。
緑	61,169	
諸	21,854	
⊖	142,572	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
管理運営費 (琵琶湖博物館)	583,170 (344,136)	琵琶湖博物館の管理運営を行うとともに、効果的な広報を行う。
		挑 1 琵琶湖博物館戦略的魅力発信事業 21,000 博物館の認知度を向上させ、より多くの利用を促進するため、メディアへの宣伝活動や動画配信等を通じて、琵琶湖博物館の魅力を効果的に発信する。
国	10,500	
使	106,493	
繰	25,409	
諸	3,436	
起	187,000	
⊖	250,332	
調査・資料収集事業費 (琵琶湖博物館)	164,235 (149,336)	「湖と人間」について、幅広いテーマで研究・調査に取り組むとともに、成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。
使	37,266	1 研究調査の実施 20,976 琵琶湖の生成や、琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組むとともに、琵琶湖地域の自然、歴史および暮らしの研究・調査を総合的に推進する。
寄	7,000	
繰	4,977	
諸	23,150	2 デジタルミュージアム推進事業 20,822 いつでも、どこでも琵琶湖博物館の資料・標本の閲覧を可能にするため、琵琶湖博物館の資料・標本をデジタル化し、ホームページで公開するとともに展示に活用する。
⊖	91,842	①デジタルミュージアムの整備 11,492 ②生物分布デジタルマップの作製 9,330

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
展示事業費 (琵琶湖博物館)	92,965 (296,621)	研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料として、人と自然の関わり等について展示を行う。
使	83,711	1 企画展示の開催 7,967 企画展示「(仮称) 埋もれた堤」を開催する。
財	760	
繰	494	② 琵琶湖博物館魅力向上事業 8,000 博物館の新規ファンやリピーターを獲得するため、博物館内外の展示を充実させることにより魅力向上を図る。
⊖	8,000	①ナイトミュージアムの開催 6,067 ②移動博物館の実施 1,933

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【琵琶湖保全再生課】		
琵琶湖総合保全対策費	160,609 (86,143)	琵琶湖の保全再生の推進に必要な調査・事業を実施する。
国	45,262	1 早崎内湖再生事業 131,420 内湖再生に向けて、北区においては駐車場の整備や築堤の仕上げ整備等の工事を行い、南区では今後の整備に向けた調査を行う。
寄	900	2 マザーレイクゴールズ推進事業 8,000 琵琶湖版 SDGs であるマザーレイクゴールズ (MLGs) の推進に向け、WEB サイトの運営やワークショップ等を開催する。
繰	94,158	挑3 湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 10,197 滋賀県にゆかりのある日が「世界湖沼の日(8月27日:第1回世界湖沼会議開会日)」として制定されたことを踏まえ、第20回世界湖沼会議への参加のほか、関西万博の機会を捉えて MLGs や琵琶湖の保全再生の取組等について世界に向けて発信する。
⊖	20,289	4 琵琶湖保全再生計画推進事業 3,176 琵琶湖保全再生計画(第2期)に基づき実施した施策の進捗状況等を整理し、計画改定に向け、国や関係地方公共団体との連携を強化するため、琵琶湖保全再生推進協議会や幹事会を開催する。
水質保全対策費	40,715 (39,912)	1 西の湖における水質改善実証モデル事業 14,600 水質悪化やアオコの発生が頻繁に見られる西の湖において、水質悪化の原因究明を進め、アオコの発生抑制に向けて水質および底質の改善に係る実証実験等を実施する。
国	14,600	
⊖	26,115	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
ヨシ群落保全事業費	29,444 (22,384)	琵琶湖のヨシ群落が持つ多様な機能が健全な形で発揮されるよう、ヨシ群落保全条例および「ヨシ群落保全基本計画」に基づき、適切な保全策を講じる。
国	8,640	1 ヨシ群落保全管理事業 24,215 湖国らしい郷土の原風景であり、人々に安らぎを与え、生物の成育や生息の場となるなど様々な機能を有するヨシ群落の保全・再生を図る。
寄	3,600	
繰	865	
起	9,500	2 ヨシ群落維持再生事業 4,810 健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヤナギの伐採等の維持管理を実施する。
⊖	6,839	
水草刈取事業費	215,436 (222,115)	水草の大量繁茂が生活環境や生態系などに深刻な影響を与えるため、水草の表層刈取りや根こそぎ除去を実施する。また、刈り取った水草は農地で有効利用し、資源循環を図る。
国	5,150	1 水草刈取事業 105,154 夏季の水草大量繁茂による航行障害や悪臭などの生活環境への悪影響を軽減するため、緊急性や公共性の高いところから計画的に表層刈取りを実施する。
財	2,599	
繰	122,632	
起	600	2 水草除去事業 98,131 水草大量繁茂による湖流の停滞、湖底の泥化など自然環境や生態系への悪影響を改善するため、南湖で水草の根こそぎ除去を実施する。
⊖	84,455	挑3 水草等対策技術開発支援事業 10,300 企業や大学等から水草等の有効利用等について新たな技術等の提案を募集し、開発や研究等の支援を行うことで、水草等対策の高度化を図る。 (補助率：1／2以内 補助対象：企業、大学、NPO団体等の法人格を有する団体)

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
琵琶湖レジャー対策費	19,238 (19,030)	琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。
使	1,470	1 プレジャーボートの航行規制 9,037 航行規制水域の指導監視と取締りを湖岸、湖上から行う。
寄	200	2 外来魚のリリース禁止 8,271 ボックス、いけすでの回収を行うとともに、主に県内の小中学生を対象としたびわこルールキッズ事業や釣り業界の団体との釣り大会等を実施し、外来魚のリリース禁止の普及啓発を行う。
諸	2,050	
⊖	15,518	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【循環社会推進課】		
循環型社会形成推進費	80,906 (73,812)	廃棄物の３Ｒ（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するとともに、サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を目指して、循環型の消費行動やライフスタイルへの転換を図る施策を推進する。
財	365	1 産業廃棄物発生抑制等推進事業 65,041
繰	37,841	滋賀県産業廃棄物税を産業廃棄物発生抑制等推進基金へ積み立て、リサイクル製品の認定および普及促進、サーキュラーエコノミーの実現に向けた実証事業の実施、先進的な研究開発、施設整備等の支援に活用するとともに、３Ｒの先進取組事例の情報発信等により産業廃棄物の発生抑制と資源化を進める。
⊖	42,700	2 ごみゼロしが推進事業 13,965
		プラスチックごみや食品ロスの削減を県民運動として推進するため、「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」による普及啓発や、事業者の取組支援、フードドライブの推進等により、県民や事業者の実践取組を促進する。
		3 災害廃棄物処理体制強化事業 1,747
		大規模災害に伴う災害廃棄物の発生に備えて、「滋賀県災害廃棄物処理計画」を適正に運用するため、訓練・研修等を行い、本県における災害廃棄物処理体制の強化を図る。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
産業廃棄物対策事業費	169,322 (159,015)	産業廃棄物の適正処理を推進するため、処理業者や排出事業者に対する監視、指導等を行うとともに、産業廃棄物の不適正事案に対して、迅速かつ厳正な対応を行い、県民の安全で快適な生活環境を保全する。
国	20,142	1 産業廃棄物適正処理対策事業 32,220 産業廃棄物処理業者やPCB廃棄物保管事業者等に対して、適正処理に関する指導、啓発等を行う。
使	28,152	また、第六次廃棄物処理計画を策定するとともに、廃棄物適正処理に向けた調査を行う。
繰	42,669	2 最終処分場特別対策事業 91,048 旧アール・ディエンジニアリング最終処分場について、引き続き周辺住民の安全・安心を確保するため、地下水等のモニタリング、浸透水の浄化処理および構造物の維持管理を行うとともに、跡地利用の検討やアーカイブの作成等を進める。
諸	2,434	3 産業廃棄物不法投棄防止対策事業 21,047 産業廃棄物の適正処理に関する普及啓発や、休日夜間の業者委託によるパトロールに加え、地域住民など多様な主体との協働による監視体制を整備することで未然防止を図るとともに、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理事案には迅速かつ厳正に対応する。
⊖	75,925	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【下水道課】		
流域下水道計画調査費	67,097 (15,260)	1 下水道を入口とした環境学習推進等事業 6,372 淡海環境プラザ屋内外の展示の充実を行うとともに、環境学習ルート案内表示を設置する。淡海環境プラザの展示やデジタルスタンプラリー等を活用した環境学習ツアーを実施し、環境学習を推進する。
	繰 12,258	
	起 52,300	(①展示物の整備、環境学習企画の充実 6,000)
	⊖ 2,539	(②びわ湖材を活用した環境教育資料の整備 372)
污水处理施設整備促進事業費	74,373 (74,373)	1 下水道終末処理場高度処理施設維持管理費補助金 18,792 公共下水道の下水道終末処理場において、琵琶湖の富栄養化を防止するため、窒素・リンの除去を行う高度処理施設の維持管理事業に対して補助金を交付する。
	⊖ 74,373	(補助率：3/10 補助対象：4市5処理場（大津市、近江八幡市、甲賀市、高島市）)
		2 污水处理施設整備接続等交付金 55,581 公共用水域の水質保全を図るため、汚水等の汚濁負荷削減を目的とした4つの事業を実施する市町に対して支援を行う。
		(1) 公共下水道接続事業 28,957 (補助率：25/1000 補助対象：6市1町（長浜市、近江八幡市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、竜王町）)
		(2) 浄化槽設置整備事業 15,921 (補助率：1/3等 補助対象：10市5町（大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、甲賀市、野洲市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町）)
		(3) 公共下水道整備事業 9,029 (補助率：10/1000等 補助対象：6市1町（彦根市、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町）)
		(4) 公共下水道高度化事業 1,674 (補助率：50/1000等 補助対象：5市（彦根市、長浜市、近江八幡市、栗東市、東近江市）)

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【森林政策課 ・ びわ湖材流通推進課 ・ 森林保全課】 森林計画費	31,211 (24,884) 国 1,750 使 3 諸 6,255 ⊖ 23,203	① 1 衛星画像による森林管理推進事業 6,000 県全域の衛星画像が搭載されるシステムを導入し、森林の変化を一括してモニタリングすることにより、効果的・効率的な森林管理を行う。
琵琶湖森林づくり事業費	1,533,228 (1,662,908) 国 200,200 財 556 寄 50 繰 585,822 ⊖ 746,600	「琵琶湖森林づくり基本計画」に基づき、森林づくり県民税を充当し、環境を重視した森林づくりと県民協働による森林づくりを実施する。 1 陽光差し込む健康な森林づくり事業 412,428 森林の公益的機能を高めるため、環境林の整備や除間伐を行うとともに、スギ・ヒノキの種子生産などを行う。 ①環境林整備事業 50,000 ②農地漁場水源確保森林整備事業 346,300 ③スギ・ヒノキ採種圃の育成管理 7,800 2 次世代の森創生事業 22,963 森林の適切な更新を図り、次世代の森林の育成を推進するため、架線系作業システムの導入や再造林における獣害対策、カーボンオフセットの推進や森林所有者の主体的な取組に対して支援する。 3 森林を育む間伐材利用促進事業 53,927 間伐材等の搬出・利用による森林資源の循環利用拡大を推進するため、間伐材等の仕分け、搬出するための作業道の開設や高性能林業機械等の利用に対して支援する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		4 災害に強い森林づくり事業 10,000 風倒木等被害対策としての予防伐採の実施や、里山における獣害防止機能の強化により、災害に強い森林づくりを目指す市町の取組を支援する。 5 協働の森づくりの啓発事業 14,823 「協働の森づくり」を広く県民に普及啓発し、県民の意識に定着させることにより、森林をみんなで守り育てようとする意識の高揚、森づくりへの県民参加の拡大と気運醸成を図る。 6 みんなの森づくり活動支援事業 6,590 NPOや地域住民団体などが取り組む里山整備等の森づくり活動や森林山村資源を活かした取組を支援する。 7 未来へつなぐ木の良さ体感事業 133,895 住宅および公共施設を含む非住宅の木造化・木質化、新たな製品開発等の取組に対して支援するとともに、木育に取り組む人材の育成等を行う。 ①びわ湖材を利用した住宅等の新設等に対する助成 55,419 補助率：定額等 補助対象：県産木材活用推進協議会 ②びわ湖材の非住宅建築物への利用促進 60,128 補助率：2／3等 補助対象：社会福祉法人等 ③森林資源の活用に関する技術開発の推進 3,189 ④木育推進強化事業 6,761 8 森林環境学習事業 131,396 小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」や森林等の自然を活かした自然保育等を推進する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
森林経営管理市町等 支援事業費	150,709 (166,877)	森林整備に取り組む市町に対する支援等を実施する。
財	412	1 森林整備支援等基金積立金 60,081 森林整備を実施する市町の支援等に必要な経費に充てるため、資金を積み立てる。
繰	90,628	2 森林・林業人材育成事業 53,388 新規就業者の知識や技術の習得、既就業者の労働生産性向上、市町職員の森林経営管理の推進に向けた知識向上等のため、「滋賀もりづくりアカデミー」を運営する。
⊖	59,669	3 森林境界明確化支援事業 37,240 森林境界明確化に向けた合成公図の作成や森林情報アドバイザーの設置を行うとともに、市町等とリアルタイムに森林情報を共有し、森林管理等を推進するための森林クラウドシステムを運用する。
森林組合振興対策費	142,302 (179,611)	1 「新しい林業」モデル構築事業 18,225 森林所有者の意欲向上や林業従事者の技術力等の向上を目的として、林業先進国からの学びやＩＣＴの導入など新しい取組によるスマート林業を構築し、主伐・再造林推進のためのモデル事業を実施する。
国	2,373	
財	1,647	2 森林組合経営支援事業 100,000 立木および原木の買取等による素材生産を行うのに必要な短期資金を貸し付ける。
繰	36,059	
諸	100,029	3 林業人材育成システム構築事業 10,793 県産材の安定的・効率的な供給体制を構築し、林業の成長産業化を実現するため、素材生産および木材加工流通を行う事業体が、地域における林業・木材産業の担い手としての役割を果たすことを目的に、人材育成を行う。
⊖	2,194	④ 森林組合マネジメント強化対策事業 2,984 県内の森林組合に対して、経営判断の材料として活用することを目的とした会計手法により、経営戦略および執行体制の構築、事業計画等を作成する研修を実施し、経営改善に資する支援を行う。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
近江富士花緑公園管理運営費	432,093 (53,891)	1 近江富士花緑公園管理運営事業 184,572 近江富士花緑公園の管理運営および改修・修繕事業を実施する。 〔 木製歩道橋、浄水ポンプ等改修 100,800 〕 ② 木育拠点施設整備事業 214,342 木育拠点施設「しがモック」（仮称）およびその周辺施設の整備等を行い、木とふれあうことにより自然とのつながりを学び、豊かな心を育む「しが木育」を推進する。 〔 ①木育拠点施設および駐車場等整備 211,801 ②木育拠点施設備品購入 2,541 〕 ③ 木育拠点施設管理運営事業 27,849 木育拠点施設「しがモック」（仮称）の管理運営を実施する。
「やまの健康」推進事業費	13,119 (13,242)	1 「やまの健康」実践事業費 2,669 やまと都市をつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現に向け、これまでの取組を活かして都市部、特に企業に対して「やま」との関わりを提案し、具体的な地域との関わりを創出する。 2 「やまと都市をつなぐ」森林山村地域活性化事業 10,450 長浜市北部地域において、森林サービス産業等の事業化や、森林資源を活かすための人材育成等を行うことで、山村地域の課題解決・活性化のモデルとなる取組を推進する。
造林公社運営費	2,965,204 (2,977,540)	一般社団法人滋賀県造林公社に対し、管理運営および森林整備に要する経費について出資金を支出するとともに、株式会社日本政策金融公庫に対し、免責的債務引受に基づく償還金を支出する。 1 出資金 199,753 2 償還金 2,764,563

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明												
林野関係公共事業	2,588,775 (2,617,745)	森林・林業関連の公共事業を実施する。												
		1 補助公共事業												
	国 1,257,962													
	分 1,129													
	起 1,174,400													
	⊖ 155,284													
		<table><tr><th>事業名</th><th>箇所数等</th><th>予算見積額</th></tr><tr><td>補助造林事業</td><td>707ha</td><td>813,200</td></tr><tr><td>補助林道事業</td><td>11 路線</td><td>109,380</td></tr><tr><td>補助治山事業</td><td>35 箇所</td><td>1,550,000</td></tr></table>	事業名	箇所数等	予算見積額	補助造林事業	707ha	813,200	補助林道事業	11 路線	109,380	補助治山事業	35 箇所	1,550,000
	事業名	箇所数等	予算見積額											
	補助造林事業	707ha	813,200											
	補助林道事業	11 路線	109,380											
補助治山事業	35 箇所	1,550,000												
	①伊吹山山腹工100,000 ②大音波谷川溪間工40,000 ※補助治山事業の内数													
	2 単独公共事業													
	<table><tr><th>事業名</th><th>箇所数等</th><th>予算見積額</th></tr><tr><td>単独林道事業</td><td>9 路線</td><td>11,724</td></tr><tr><td>単独治山事業</td><td>22 箇所</td><td>104,471</td></tr></table>	事業名	箇所数等	予算見積額	単独林道事業	9 路線	11,724	単独治山事業	22 箇所	104,471				
事業名	箇所数等	予算見積額												
単独林道事業	9 路線	11,724												
単独治山事業	22 箇所	104,471												

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【自然環境保全課】		
自然公園等管理費	89,863 (108,693)	自然公園施設等の維持管理や整備等を行う。
		1 しがの自然公園魅力向上事業 26,400
国	500	(1) 新旭浜園地再整備事業 15,400
使	5,954	自然公園施設の魅力向上に向けて、新旭浜園地の再整備に係る設計を行う。
繰	1,000	(2) トイレ照明ＬＥＤ化事業 10,000
起	25,500	自然公園施設内のトイレの快適性向上を図るため、照明のＬＥＤ化を行う。
⊖	56,909	挑(3) 岡山園地通景伐採事業 1,000
		岡山園地において、湖岸道路からの眺望を確保し魅力向上を図るため、樹木伐採を行う。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
自然環境保全推進費	191,164 (215,109)	ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例に基づき、希少種の保護を図るとともに、外来種の防除対策を推進し、生物多様性の保全に向けた総合的な対策を推進する。
国	22,650	1 野生生物保全対策事業 3,381 「滋賀県で大切にすべき野生生物（滋賀県版レッドデータブック 2025 年版）」の作成に必要な調査等を行う。
緑	5,230	2 生物多様性しが戦略推進事業 5,298 「生物多様性しが戦略 2024」に基づき、企業等による保全地域の拡大等に向け、意見交換会の開催や経済的インセンティブの導入に係る検討を進める。
⊖	163,284	3 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 170,302 琵琶湖の生態系への悪影響などが懸念されている「オオバナミズキンバイ」「ナガエツルノゲイトウ」等の侵略的外来水生植物について、戦略的な防除を行う。
		4 巨樹・巨木林保全活用事業 7,215 琵琶湖源流域の水源の森に残る巨樹・巨木林の保全活動等に対して支援を行うとともに、持続可能な利用のための地域資源の掘り起こしやエコツーリズムの推進を図る。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
鳥獣対策費	19,074 (15,566)	「鳥獣保護管理事業計画」に基づき、野生鳥獣の保護および管理ならびに狩猟の適正化に関する業務を総合的に実施し、適切な鳥獣の保護管理を推進する。
	国 8,787	
	⊖ 10,287	1 ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画推進事業 8,182 「ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画」に基づき、適切な保護管理を推進するため、生息状況調査を実施する。また、人身被害を回避するため、出没予測調査を実施するとともに、住民への情報提供等の対応を行う。 2 獣害対策担い手育成事業 3,514 捕獲技術者の確保および育成のため、射撃技能向上に資する講習を行う。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
森林動物対策事業費	278,414 (309,657)	ニホンジカ、ニホンザル、カワウおよびイノシシの「第二種特定鳥獣管理計画」に基づき、捕獲を中心に有害鳥獣対策を実施し、農林水産業被害や生態系被害等の軽減を図る。
国	138,076	1 ニホンジカ対策事業 143,971 市町等が実施するニホンジカの捕獲に助成するとともに、捕獲条件が厳しい奥山等でニホンジカの調査や捕獲を行う。
緑	123,678	〔湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業 112,830〕 補助率：定額 補助対象：市町、地域獣害対策協議会、法人格を有する狩猟者団体
⊖	16,660	2 ニホンザル対策事業 10,000 市町等が実施するニホンザルの調査や捕獲に助成する。 〔補助率：1／2以内 補助対象：市町、地域獣害対策協議会〕
		3 カワウ対策事業 14,276 市町等が実施するカワウの捕獲等に助成するとともに、竹生島等の大規模営巣地でカワウの捕獲を行う。 〔①琵琶湖北部カワウ等対策事業 3,200〕 補助率：1／2以内 補助対象：竹生島タブノキ林の保全・再生事業推進協議会 ②新規コロニー等拡大防止カワウ対策事業 800 補助率：1／2以内 補助対象：市町、地域獣害対策協議会
		4 第二種特定鳥獣対策推進事業 110,167 ニホンジカ、イノシシおよびニホンザルについて市町等が実施する捕獲に助成するとともに、生息動向のモニタリング調査等を行う。 〔鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業 100,210〕 補助率：定額 補助対象：市町、地域獣害対策協議会

琵琶湖流域下水道事業会計

単位：千円（税込）

当初予算見積額および説明【収益的収支】

1 重点的取組事項

各市町から流入する汚水进行处理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現する。

(1) 下水道施設（管渠、ポンプ場、処理場等）の維持管理

9,597,549千円

湖南中部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。

湖西処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水污泥の共同処理を行う。

東北部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。

高島処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水污泥等の共同処理を行う。

(2) 汚水処理分野における技術協力プロジェクト

2,500千円

下水道分野における国際協力として、東南アジア等の閉鎖的水域の水環境問題を抱える地域を対象に新たな技術協力を実施すべく現地調査と協議を行うとともに、県内企業の海外ビジネス展開に貢献する。

2 業務の予定量

流域関連公共下水道の処理区域の存する市町	13市6町
年間総処理水量	157,760,245m ³
一日平均処理水量	432,220m ³ /日

3 収益的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額
事業収益 A	20,366,100	20,431,700
営業収益	8,986,609	9,119,786
うち維持管理負担金	8,714,203	8,834,545
他会計補助金	115,581	116,462
受託事業収益	156,300	168,253
その他営業収益	525	526
営業外収益	11,379,491	11,311,914
うち受取利息及び配当金	10	550
他会計補助金	2,111,206	2,216,278
長期前受金戻入	9,170,650	9,043,206
雑収益	97,625	51,880
事業費用 B	21,316,300	21,651,900
営業費用	20,771,493	21,132,261
うち管渠費・ポンプ場費・処理場費	8,957,554	9,429,296
受託事業費	156,300	168,253
総係費	376,305	386,197
減価償却費	11,206,209	10,991,337
資産減耗費	75,125	157,178
営業外費用	544,807	519,639
うち支払利息及び企業債取扱諸費	544,471	519,339
雑支出	336	300
差引収支 A-B	△ 950,200	△ 1,220,200
資金収支	1,160,484	885,109

単位：千円（税込）

当初予算見積額および説明【資本的収支】

1 主な建設改良事業

生活環境の改善と公共用水域の水質保全ならびに都市の健全な発達を図るため、流域下水道建設事業を推進する。
15,327,051千円

- 湖南中部処理区：下水汚泥燃料化事業（3号焼却炉改築更新事業）、汚泥脱水機更新工事、
水処理設備増設工事、管渠築造工事（日野第二幹線）、耐震補強工事（安土ポンプ場）、
ポンプ場改築更新工事（橋本ポンプ場）、
公園魅力向上推進事業（矢橋帰帆島公園）[遊具更新55,000千円、園路整備4,000千円]
- 湖西処理区：水処理設備改築更新工事、自家発電機更新工事、ポンプ場改築更新工事（清水ポンプ場）、
人孔防食工事（湖西北幹線）
- 東北部処理区：水処理設備築造工事、汚泥処理設備改築更新工事、管更生工事（愛東西幹線）、
自家発電設備等更新工事（近江ポンプ場）、
管渠築造工事（愛東東幹線、彦根南第二幹線、木之本西幹線）
- 高島処理区：水処理設備増設工事、汚泥処理設備改築更新工事、用水給水設備改築更新工事

2 資本的収支見積額

	前年度予算額	当年度予算見積額
資本的収入 A	15,315,900	16,970,000
企業債	3,824,600	3,950,100
県出資金	877,832	851,874
国補助金	7,946,055	9,200,603
建設負担金	2,625,213	2,922,123
他会計補助金	42,200	44,800
その他資本的収入	—	500
資本的支出 B	17,406,300	19,754,700
建設改良費	13,519,958	15,327,051
企業債償還金	3,886,342	3,770,775
返還金	—	656,874
差引収支 A-B （損益勘定留保資金等で補填する）	△ 2,090,400	△ 2,784,700

3 年度末下水道事業債等残高見込み

	前年度予算額	当年度予算見積額
年度末下水道事業債等借入金残高見込み	44,136,177	44,315,502
年度末損益勘定留保資金等残高見込み	1,231,603	552,212